

男のモノ選びには確固たる信念が必要です。

ライトニング

Lightning

2010 Vol.191 3月号 定価 ¥680

専門家が
教えてくれた

長く使える
男の道具。



巻末特集
気になるアイテムが満載!!
他人のカバンの中身が見てみたい。



ここ数年、60年代から70年代にかけて生産された国産旧車の注目度がグンと上がったことは周知の事実。もちろんそのベースには流行りには全く関係なく、じつと何十年も支えてきた旧車愛好家たちのパワーが存在している。これは言うまでもない。加えて、かつて各メーカーがオリジナルティとパワーを追求しながら開発した様々なモデルが、エコカーというキーワードで画一化されていく現在において実にユニークで味のある乗り物として魅力を放っていることも要因のひとつと言えるだろう。

国産旧車を楽しむスタイルは様々な幅も日々広がっている。オリジナルティを大切に、いかに新車状態に戻すかというレストアも素晴らしいし、あくまでもデザインやイメージをモチーフとして今風にアレンジするのもまた楽しい。そして実力のあるコンストラクターたちの地道な努力によって育まれたテクニカルノウハウが、後者の楽しみ方をよりエンスージヤスティックなものとしてしているのも事実だ。

今回ここに紹介する1台も、そんな最新技術をふんだんに駆使した超魅力的なモディファイドヴィンテージである。Z好きが見ればこれがS30系であることは一目瞭然だが、あまり旧車に詳しくない人が始めてこれを見て、これが30年以上も前に生産されたクルマがベースとなっていると聞いてもわからないほど信じられないかもしれない。それほどこのZには時を超えた何か特別なオーラを感じずにはいられない。エクステリアが過激だから!? いえいえ、ただそれだけでこの威風堂々たる存在感と秘めたるエネルギーを感じさせるこ

日本のモディファイもここまで来た USA顔負けのネオヴィンテージ登場!

text/K.Yamazaki 山崎和彦 photo/T.Fuchimoto 淵本智信 取材協力/ロッキーオートphone0564-58-7080

Woow, What's a burger style!!!!



1977 NISSAN FAIRLADY Z S31

とはできないだろう。

ネタを明かそう。実はこの1台、岡崎市にあるロッキーオートというショップがユーザーからのリクエストに応じて製作したフルカスタムメイドなのだ。ベース車両こそ1977年式の排ガス対策の洗礼を受けたS31型ではあるが、ご覧のようになんと大胆なモディファイが施されている。そして、S30シリーズならではのいわゆる「Zらしさ」をしつかりとリスベクトし、その視覚的エッセンスを昇華させるべく手を加えるというロッキーオートならではのセンスがふんだんに盛り込まれているのだ。クルマの詳細については次ページをご覧ください。ここで、ここでライトニング的に紹介しておきたいポイントは、このクルマの仕上げ方がカリフォルニアを中心としたアメリカのダッツン好きが追求しているスタイルに共通するテイストを感じるということ。これまでに本誌やヴィンテージオートでも紹介してきたハイガースタイルの延長線上にあり、しかも本場の味に負けない、いやそれどころか超えた味を出すことに成功している、言わばプレミアムステイキバーガーなのである。

さてこの強力なZ。一度アクセルを踏み始めるとその異次元な走り

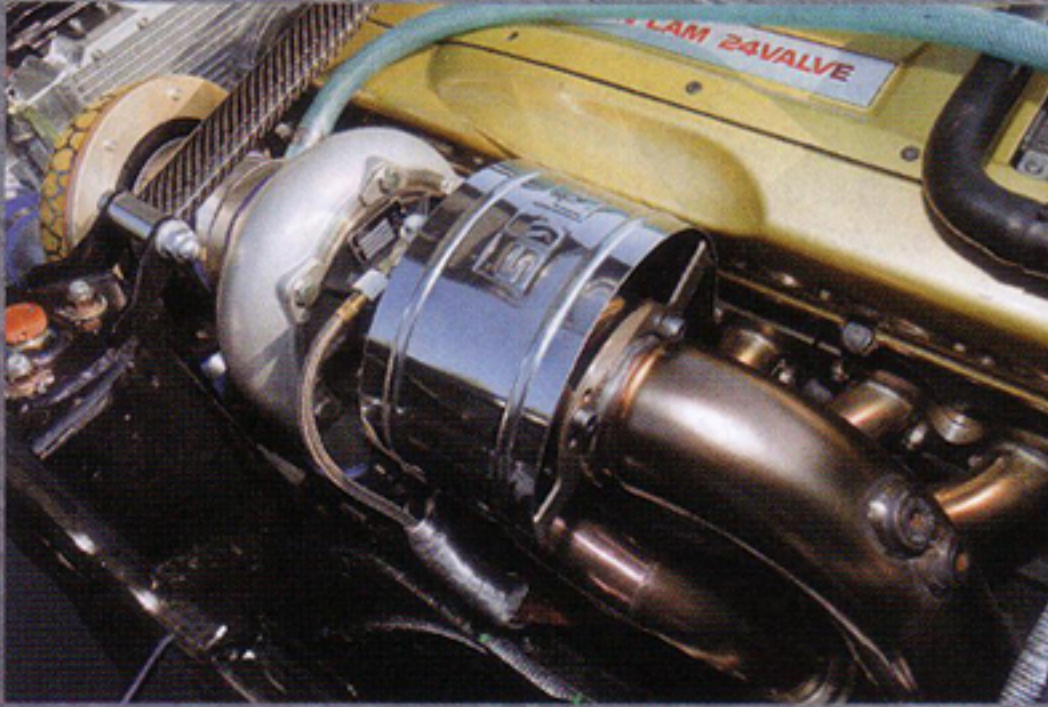
と高級スポーツカーに共通する不思議なほどの安心感に包まれる。そつ

つまりは本当に大人としての理性をきっちり働かせねば、とんでもないGで脳内の血液を隅に集めてしまうことになる。

作り手、そしてこのコンセプトをオーダーしたオーナーのずば抜けたセンスに脱帽だ。



←Zならではのオリジナルのテールレンズと大胆なフェンダー処理がありなす妙が、時を超えた究極のモディファイを象徴している



↑エンジンの大きさに対しての、このタービンの存在感はまさに圧巻としか言いようがない。まさにバケモノの心臓と呼ぶにふさわしい



↑さり気なくレイアウトされたメーター類は、340Km/hまで刻まれたスピードと、シフトアップタイミングを教えてくれるタコ



スカンジナビアン・ファニチャーサービスは
北欧デザインの中古家具専門店です。

SALE
~60%OFF

2/20(土)~3/30(火)



Sofa

→¥399,000
→ask

Bookcase

→¥160,000
→¥128,000



Dining chair

→¥36,000
→¥30,600



Coffee table

→¥94,000
→¥56,400



Chest

→¥94,000
→¥65,800



Ottoman

→¥94,000
→¥15,400

※商品は全て一点ものになりますので
売り切れの際は、ご了承ください。

www.e-sfs.com

SFS スカンジナビアン・ファニチャーサービス
Scandinavian Furniture Service

平日12:00~19:00
土日祝日11:00~20:00 水曜日休
東京都世田谷区玉川台2-2-3
TEL:03-3708-2266 FAX:03-5717-3531
MAIL:sfs@peacs.net
アクセス/車:東名自動車道東京インター出口から5分。
環状八号線内回り。瀬田交差点手前 有り
電車:田園都市線用賀駅より徒歩8分。
南口から環八方面に直進。瀬田交差点を右折



ほのかに香るZイズムが新鮮

→なんだかホッとする感じのするインテリアは、オリジナルの雰田気を大きく壊すことなく、ドライバーのヴィンテージカーに対する愛着を大事にしている。ダッシュ周りは贅沢な植毛仕様で高級感を演出している



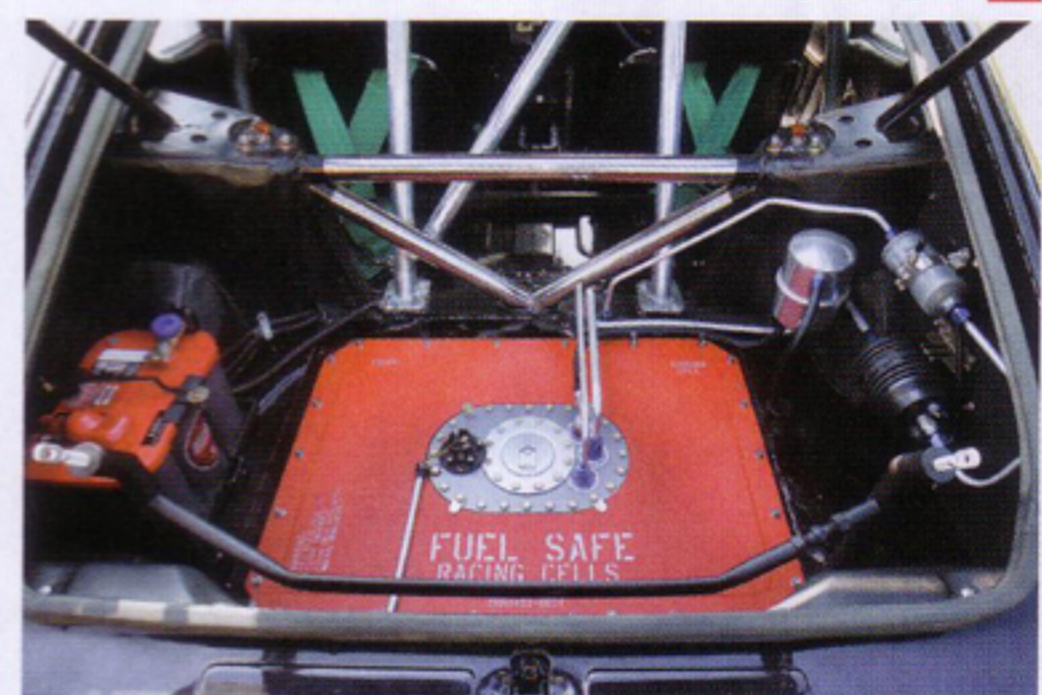
インテリア

ダツンバケットシート
TAKATA 4点シートベルト
ダッシュボード植毛加工
オートメーター (タコメーター・燃料)
アベックス (油温・油圧・水温)
仕上げは天下一品だ

←高性能エンジンと情報のやりとりをするのに必要最小限なメーター類をきちんとレイアウトし、さも純正のように見せるあたりがロッキー流。シフトやコンソール周りにおける細かい仕上げは天下一品だ

ポテンシャルを上げる数々の秘策

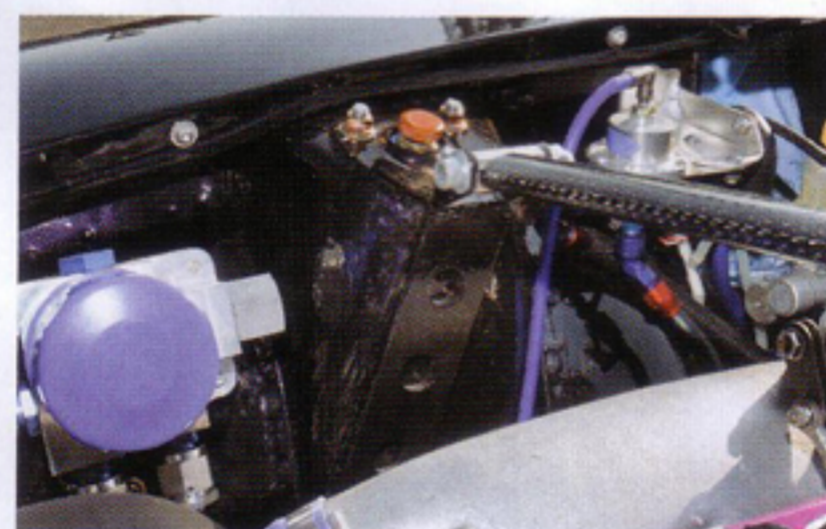
→細部まで目をやることで車体剛性を上げる工夫を随所に見ることができる。“パワーと車体剛性のバランス”こそがロッキーのテーマでこういった積み重ねが1台のクルマの乗り味をグッと味のあるものに変えているのだ



↑リアハッチを開けると目に飛び込んでくるのが安全タンク。レース好きにはストラットを結ぶ補強のバーの太さとレイアウトが気になる。バッテリーはあえて後方にリロケートしてあるのだ

ボディ

フロアメインフレーム補強
ステップ鋼材補強
フロアサイド補強バー追加
窓枠スポルト溶接増し
フロントストラットタワー補強
フロントメンバー補強
ボディ接点付近補強バー追加
リアストラットタワー補強
リアメンバー廻り補強バー鋼板補強

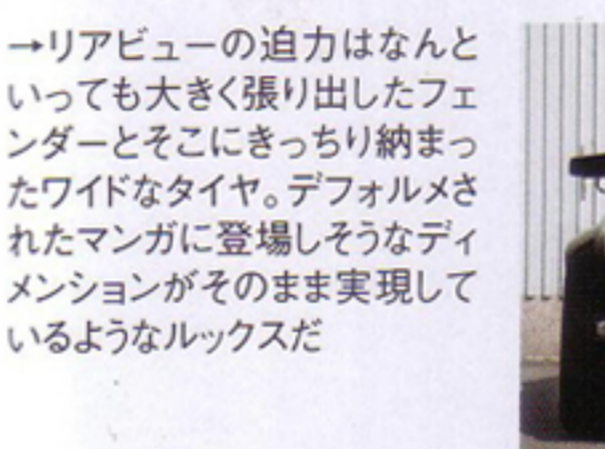


←S31をベースとしてエクステリアのモディファイも素晴らしいが、実は全てのパネルを一度バラし、要所所にご覧のような太い補強のバーを溶接している。トータルでの強度は想像を超える高さであるという

前代未聞のマッスル感を達成
大胆かつ繊細なエクステリア。



←要求された全ての性能をまとい、静かにオーナーが乗り込んでくるのを待つ。そんな顔つきにも見えてくる自信に満ちたフロントビュー。この位置からのリアウイングの見え方もなんとカッコいい



→リアビューの迫力はなんとっても大きく張り出したフェンダーとそこにきっちり納まったワイドなタイヤ。デフォルメされたマンガに登場しそうなディメンションがそのまま実現しているようなルックスだ



エクステリア

R35GT-R スペック V 純正
アルティメイトオパールブラック塗装
フルワークス前後オーバーフェンダー
ロッキーオリジナルフロントスカート&アンダーデフューザー
フロントフェンダーダクト加工 (V36 スカイラインウインター)
GT ウィング
カーボンボンネット (R35GT-R ダクト)
スモークライトカバー



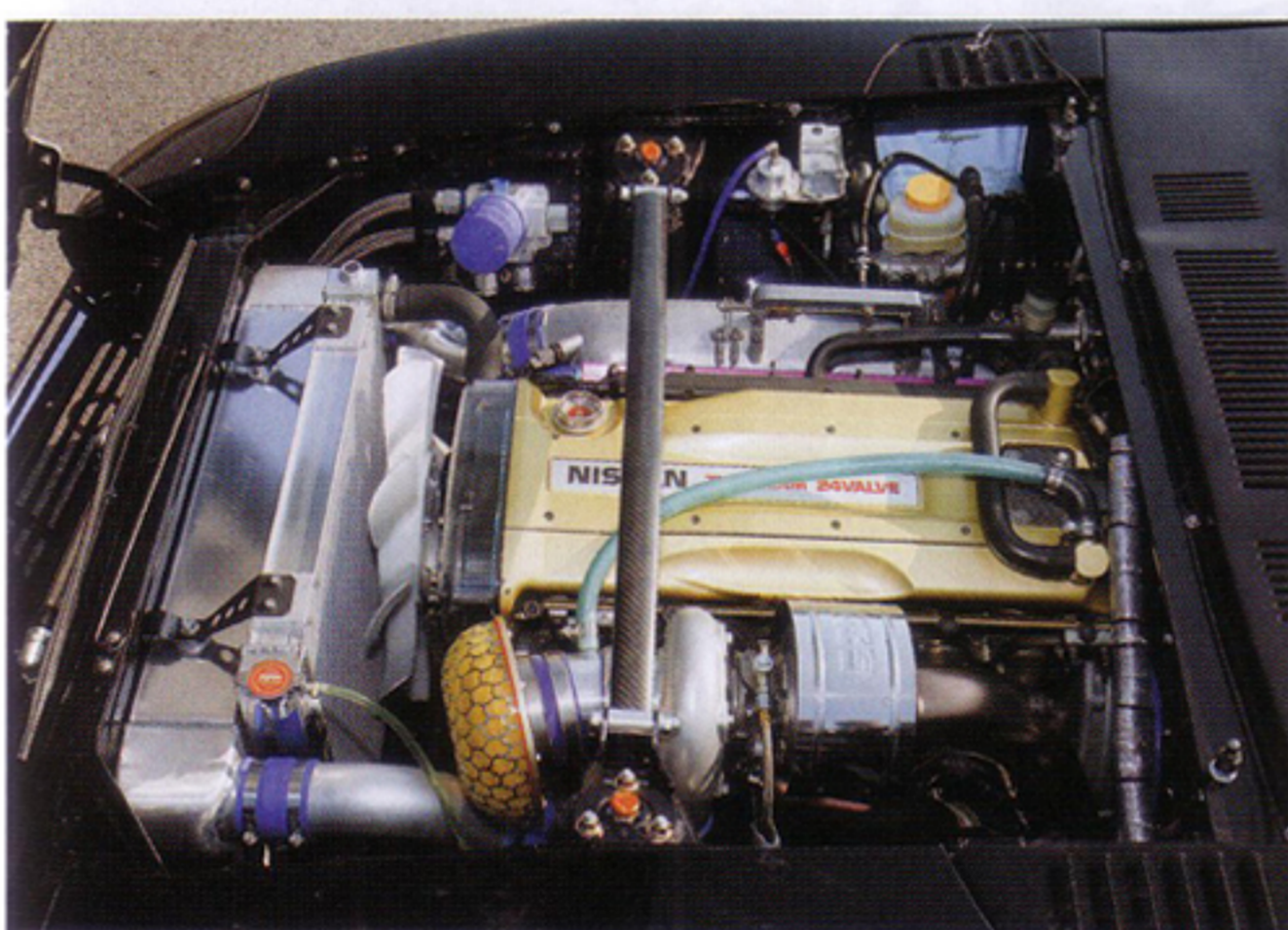
↑ファッションカーではなく、実際に走りこもことで各部をきっちりセットアップしていったところが最大の魅力。もちろんハードなサーキットランにも耐えるだけのポテンシャルを秘めているという



↑ユーザーはなぜS30系Zが好きなのか、そのポイントを完璧に把握しているからこそできるモディファイを目指したという。確かに、大胆に手が加えられているとはいえ、Zならではの魅力は随所に残り、光っている

過激なエンジンコンバートは
緻密な仕上げが真骨頂。

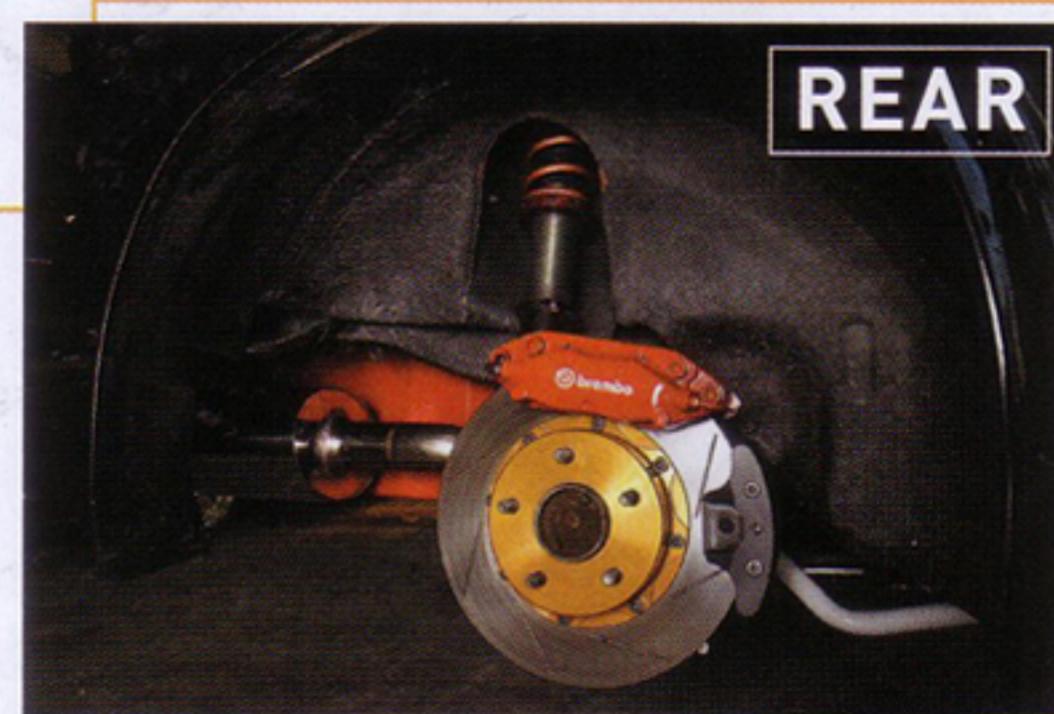
→ロングノーズとはいえ、スペースに余裕があるわけではない。ただでさえ長いエンジンを搭載した上に、ラジエーターと大きなインタークーラーを外観を損なうことなくレイアウトすることは至難の業と言えよう



↑ニッサンが誇る2.6リッターツインカム、ツインターボエンジンをベースに、HKS製のT04Zという大きなシングルタービンを装着。ドカン! と炸裂するターボパワーで異次元の加速フィーリングを実現させている

エンジン

RB26DETT 改 HKS T04Z
シングルタービン
HKS R ウェストゲート HKS V プロ
トラス3層コアインタークーラー
Koyo アルミ2層ラジエーター
ロッキーオリジナルフロントパイプ&マフラー



REAR

↑フロント同様、フェラーリ純正と同じタイプのキャリパーで強力な制動パワーを確保しているリアブレーキ。前方にある小さなキャリパーはサイドブレーキ用。スリットの入った大型ディスクの直径も半端ではない。



→ハブを微妙に調整することでなんとも大胆な影りの深さを演出しているリアホイール。アラゴスタの特注サスとレース用のスタビライザーを組み込むことによりストロークやワインディングからサーキットまで対応する

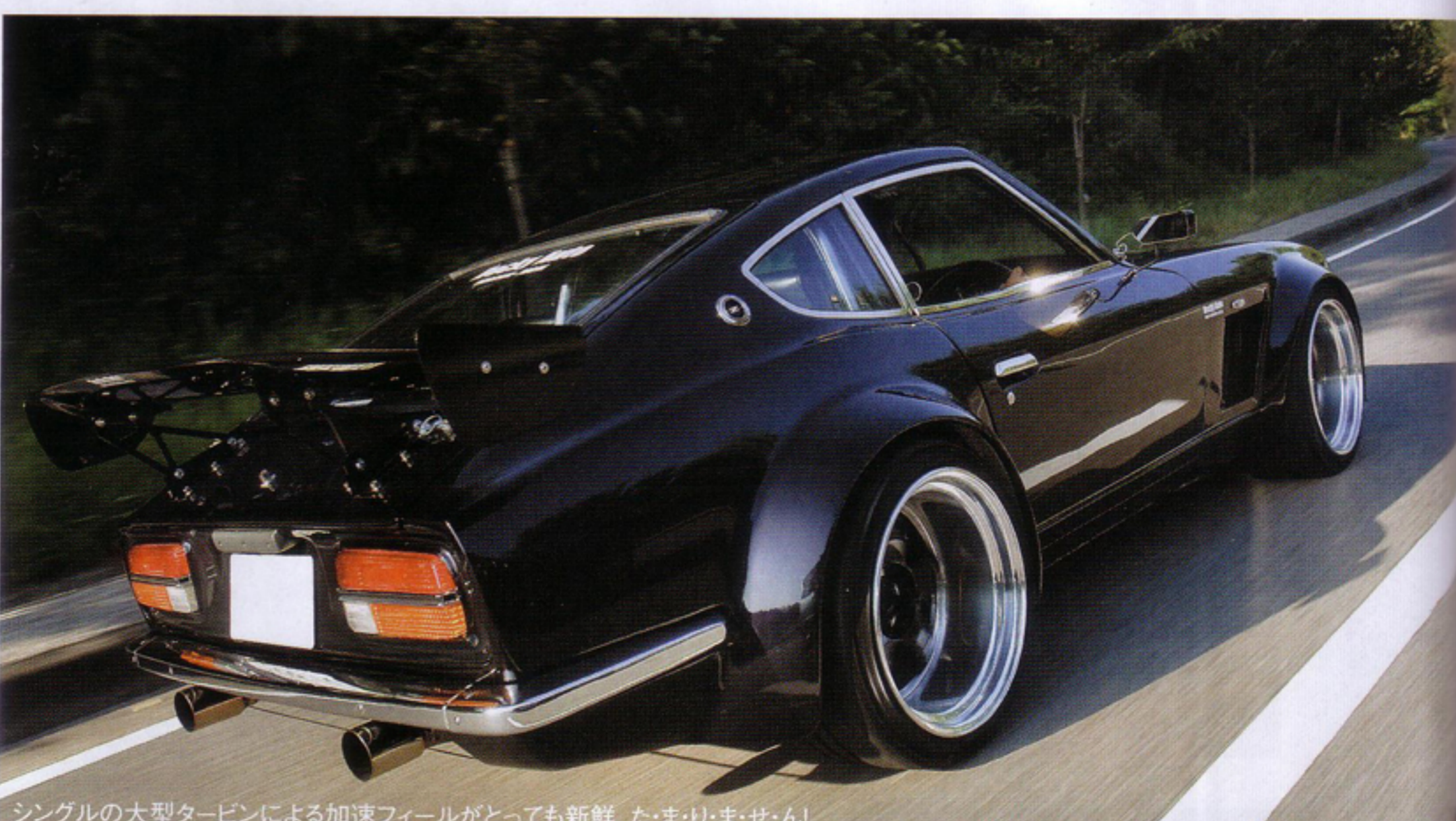
驚愕のスペックを
支える足回り。

FRONT

→よく走るクルマはよく止まらなければならない。というセオリーを守るのはもちろん、ロッキーオートでは常に車体と足のポテンシャルがエンジンを上回ることをテーマとし、当然ながらこの作品にも活かされている



→これだけワイドなタイヤとホイールを呑み込みながら、フェンダーと干渉させないあたりはさすが。超扁平タイヤと旧車の取り合わせはいつも賛否論だが、この1台に関してはその域さえも超えている



シングル的大型タービンによる加速フィーリングがとって新鮮。た・ま・に・ま・せ・ん!

1977NISSANFAIRLADY ZS31